

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和5年度)

施設の名称	宮城県総合運動公園(宮城県サッカー場を含む。)
指定管理者の名称	宮城県スポーツ協会・同和興業・セントラルスポーツ
施設所管部課(室)	企画部スポーツ振興課

## 1. 当該施設の管理形態の推移【施設所管課記入】

期 間	管理形態	指定管理者(管理受託者)の名称	摘要
平成18年4月 ~ 平成21年3月	指定管理者	宮城県スポーツ振興財団・同和興業・セントラルスポーツグループ	
平成21年4月 ~ 平成24年3月	指定管理者	宮城県スポーツ振興財団・同和興業・セントラルスポーツグループ	
平成24年4月 ~ 平成29年3月	指定管理者	宮城県スポーツ振興財団・同和興業・セントラルスポーツグループ	
平成29年4月 ~ 令和4年3月	指定管理者	宮城県スポーツ協会(振興財団)・同和興業・セントラルスポーツグループ	H30.4.1名称変更
令和4年4月 ~ 令和9年3月	指定管理者	宮城県スポーツ協会(振興財団)・同和興業・セントラルスポーツグループ	

## 2. 現指定管理者の概要【施設所管課記入】

指定管理者の名称	名称	宮城県スポーツ協会・同和興業・セントラルスポーツグループ
	所在地	宮城県宮城郡利府町菅谷字館40-1
指 定 期 間	令和4年4月1日 ~ 令和9年3月31日 (5か年)	
募 集 方 法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	

## 3. 施設の概要【施設所管課記入】

施設の名称	宮城県総合運動公園(グランディ・21)	
所在地	宮城県宮城郡利府町菅谷字館40-1	
設置年月	平成7年11月	
根拠条例等	県立都市公園条例、総合運動場条例	
設置目的	スポーツの普及振興を図り、もって県民の心身の健全な発達と福祉の増進に資するため	
施設の内容	敷地面積	宮城県総合運動公園 約432,000㎡ 宮城県サッカー場 112,533.19㎡
	構造	キューアンドエースタジアムみやぎ(宮城スタジアム):鉄骨鉄筋コンクリート造6階建、セキスイハイムスーパーアリーナ(総合体育館):メインアリーナ 鉄筋コンクリート造3階建、サブアリーナ 鉄筋コンクリート造2階建、セントラルスポーツ宮城G21プール(総合プール):鉄筋コンクリート造地上3階地下1階建、テニスコート:砂入り人工芝コート10面、全天候型ハードコート6面、合宿所:鉄筋コンクリート造3階建、みやぎ生協めぐみ野サッカー場(宮城県サッカー場):鉄筋コンクリート造3階建
	内容	第1種公認陸上競技場、第3種公認陸上競技場(補助競技場)、第3種公認投擲場、セキスイハイムスーパーアリーナ(メイン・サブ)、日水連公認プール(長水路、短水路、飛込)、テニスコート、合宿所サッカー場(天然芝2面、人工芝1面)
開館(所)日	年末年始(12/29~翌1/3日迄)及び毎月月曜(休館日)を除く毎日	
開館(所)時間	午前9時00分~午後9時00分(プール:午前10時00分~午後8時00分)/日・祝日午前9時~午後5時	
指定管理者が行う業務の範囲	1 本施設の管理運営業務 2 本施設の使用許可申請の受付及び許可並びに利用料金の徴収に関する業務 3 本施設の利用の制限及び入場の拒否等に関する業務 4 本施設(宮城県サッカー場を除く)の行為許可に関する業務 5 本施設及び付随施設の機械設備の操作・日常点検業務 6 本施設及び付随施設の施設・設備、物品及び敷地の維持管理業務 7 その他の施設の管理運営業務に関して宮城県が必要と認める業務	
利用料金制	採用の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	利用料金の名称	・施設利用料金 ・行為許可利用料金(宮城県サッカー場を除く)

4. 施設利用実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 開館(所)日数及び利用者数					
項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和5年度) (A)	前 年 度 (令和4年度) (B)	評価対象年度 (令和5年度) (C)		
開館(所)日数(テニス・サッカー場)	328 日	330 日	220 日	67.1%	66.7%
開館(所)日数 (体育館・プール・スタジアム・合宿所)	328 日	329 日	315 日	96.0%	95.7%
延べ利用者数	1,201,100 人	1,170,136 人	1,203,680 人	100.2%	102.9%

  

(2) 延べ利用者数の内訳					
項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和5年度) (A)	前 年 度 (令和4年度) (B)	評価対象年度 (令和5年度) (C)		
宮城スタジアム	27,000 人	26,455 人	36,496 人	135.2%	138.0%
総合体育館	760,000 人	750,264 人	715,856 人	94.2%	95.4%
総合プール	80,000 人	77,897 人	77,577 人	97.0%	99.6%
テニスコート	19,000 人	18,904 人	19,081 人	100.4%	100.9%
合宿所	4,100 人	4,031 人	8,570 人	209.0%	212.6%
サッカー場	61,000 人	60,920 人	56,695 人	92.9%	93.1%
公園来場者(無料観客・見学・公園)	250,000 人	231,665 人	289,405 人	115.8%	124.9%
合 計	1,201,100 人	1,170,136 人	1,203,680 人	100.2%	102.9%

5. 管理運営収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 収入 <span style="float: right;">(単位:千円、%)</span>					
項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和5年度) (A)	前 年 度 (令和4年度) (B)	評価対象年度 (令和5年度) (C)		
県指定管理料	575,000	575,000	575,000	100.0%	100.0%
補助金収入	38,963	1,966	61,303	157.3%	3118.2%
利用料金収入	380,979	438,636	448,437	117.7%	102.2%
その他	14,500	16,799	17,929	123.6%	106.7%
収入計 (a)	1,009,442	1,032,401	1,102,669	109.2%	106.8%

  

(2) 支出					
項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和5年度) (A)	前 年 度 (令和4年度) (B)	評価対象年度 (令和5年度) (C)		
人件費	184,158	179,737	181,307	98.5%	100.9%
施設管理費	694,088	697,986	754,703	108.7%	108.1%
事業運営費	42,260	43,187	55,369	131.0%	128.2%
その他	88,936	83,791	83,958	94.4%	100.2%
支出計 (b)	1,009,442	1,004,701	1,075,337	106.5%	107.0%

  

(3) 収支					
収 支 (c)=(a)-(b)	0	27,700	27,332	-	98.7%
前期繰越収支差額				-	-
次期繰越収支差額				-	-

5-2. 自主事業収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 収入 (単位:千円、%)

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和5年度) (A)	前 年 度 (令和4年度) (B)	評価対象年度 (令和5年度) (C)		
事業費	43,654	40,007	43,120	98.8%	107.8%
参加料収入	45,282	43,784	40,837	90.2%	93.3%
収入計 (a)	88,936	83,791	83,957	94.4%	100.2%

(2) 支出

人件費	565	37	164	29.0%	443.2%
施設管理費	10,823	11,737	7,960	73.5%	67.8%
事業運営費	18,845	15,875	17,130	90.9%	107.9%
その他	58,703	56,142	58,703	100.0%	104.6%
支出計 (b)	88,936	83,791	83,957	94.4%	100.2%

(3) 収支

収 支 (c)=(a)-(b)	0	0	0	-	-
前期繰越収支差額				-	-
次期繰越収支差額		0		-	-

6. 評価対象年度(令和5年度)の管理運営評価【指定管理者・施設所管課記入】

項目	事業実績 【指定管理者記入】		指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】		
			評価	評価			
①管理運営体制	<p>【人員配置】 総務部、事業企画部、サービス向上グループ、施設管理グループの4グループ制とし、効率的な管理体制をとった。</p> <p>【職員研修】 ・組織体制の強化と職員の資質向上のため、職員全体研修会を年度内に3回実施(R4は1回)するとともに、階層別対応研修会を実施した。 ・職員に専門性を持たせるため施設管理に関する資格取得を推進した。 ・各種研修会に職員を派遣した。</p>		<p>○適切な人員配置及び業務分担により、効率的な管理運営体制で業務を遂行することができた。</p> <p>○県担当課、コンソーシアムグループ及び関係各所との連携・協力により円滑な管理運営ができた。</p> <p>○施設を管理するうえで必要な資格取得を推進し、専門的な知識を有する職員の育成を図ることができた。</p> <p>○全体研修会の開催回数を増やすことで職員間の交流や意識向上を図ることができた。</p> <p>○各種研修会に職員を派遣することにより、他施設、他団体との交流機会を増やし、職員の資質向上に取り組んだことで、利用者サービスの向上が図れた。</p>		S	<p>適切な人員配置を行い、効果的な管理運営体制が図られている。適時関係箇所との連携等を行っており、円滑に管理運営ができる体制をとっている。施設管理に関する資格取得を推進する取り組みや、各種研修会に職員を派遣することにより、他施設、他団体との交流機会を増やす取り組みを行い、職員の資質向上に努めている。また、全職員を対象としたコンプライアンス研修を実施するなど、内部統制を図るための取組みがなされている。</p>	S
人員体制	正規 30 人	非正規 10 人					
②施設・設備の維持 管理業務の実施	<p>○定期・法定点検に加え、施設管理グループ職員による日常的保守点検を実施し、設備の保全を図った。</p> <p>○施設の消毒や換気などを徹底し、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めた。</p> <p>○指定管理料に含まれる26,000千円を超える修繕を実施し、施設及び利用者の安全を担保すると共に利便性の確保をした(修繕費103,053千円)。</p> <p>○利用者サービスを低下させることなく、機能保全を図った。</p> <p>○光熱費の使用量削減や照明機器のLED化等を推進し、省エネルギー化に取り組んだ。</p> <p>○令和6年3月の総合プールの再開に向けてプールタイル修繕等を実施した。</p>		<p>○法定点検だけではなく、施設管理グループ職員による日常的保守管理により、施設・設備の状況を常に把握し、不具合の早期発見・早期対応に努めることができた。</p> <p>○施設の消毒や換気などを徹底し、安全に施設利用できる環境を整えることができた。</p> <p>○施設の劣化・不具合状況等の現状について、その都度県担当課へ迅速に報告・相談し、情報の共有が図ることができた。</p> <p>○緊急性の高い修繕や利用者サービスの向上につながる修繕等については、県と協議の上、当グループにおいて実施し(18件66,763千円)、利用者サービスの低下を防ぎ、安全・安心な施設の提供となるように取り組んだ。</p>		S	<p>日常的な保守点検はもとより、施設・設備等の不具合の際には、県との迅速な情報共有が図られている。また、緊急性の高い修繕や利用者のサービス向上に寄与する改修などにおいては、指定管理者による迅速な整備・対応が図られている。</p>	S
③運営業務(ソフト 事業等)の実施	<p>○県民向け会員制事業(フィットネス&amp;レッスン等)を実施し、生涯スポーツの普及振興に努めた。</p> <p>○幼児及び小学校低学年を対象としたキッズ体育教室を開催し、子どもの健康な体づくりと体力・運動能力向上の推進を図った。</p> <p>○高齢者向けのシニア運動教室を開催し、健康長寿の延伸を図った。</p> <p>○多くの県民に施設を身近に感じていただくために5月に補助競技場の無料開放、10月にサブアリーナの無料開放とみやぎスポーツDAYを実施した。</p>		<p>○利用者ニーズの把握に努めたことで参加者数が順調に増加し、県民の日常的な運動機会の増加に繋げることができた。</p> <p>○幼児から高齢者までの教室の実施により、生涯にわたるスポーツ活動の機会を提供することができた。</p> <p>○施設の無料開放を行ったことで、特に近隣住民の皆様により施設を身近に感じていただくことができた。</p> <p>○特に「みやぎスポーツDAY」においては、子どもから大人まで楽しめる全20種類のスポーツを一堂に集めた体験型イベントを実施し、県民のスポーツへの参加機会の提供に努めることができた。</p>		S	<p>利用者ニーズを適切に把握しつつ、幅広い年齢層を対象とした各種事業を展開し、生涯スポーツの普及・振興、運動機会の創出・増加に努めている。事業計画及び昨年度実績を上回る施設利用が図られている。</p>	S
④自主事業の実施	<p>○施設を活用し、下記事業を実施した。</p> <p>①選手・指導者育成・支援事業 ②地域スポーツ支援事業 ③競技会の開催機会提供事業 ④スポーツ環境整備事業 ⑤フィットネス&amp;レッスンプログラム</p>		<p>○指定管理者自主事業として競技力向上事業、生涯スポーツ推進事業を積極的に行い、宮城のスポーツ振興に貢献することができた。</p> <p>○多様なプログラムを実施し、施設の活用促進・PRにつながった。</p> <p>○フィットネス&amp;レッスンについては、利用者ニーズの把握に努め、リピーターの増加及び満足度の向上に繋げることができた。</p> <p>○左記各種事業に対し、延べ79,974人に参加いただいた。</p>		S	<p>利用者ニーズを適切に把握しつつ、幅広い年齢層を対象としたプログラムを展開し、生涯スポーツの普及・振興、運動機会の創出・増加に努めている。また、団体貸切が入りにくい日程・時間帯での実施により、施設の有効利用が図られている。</p>	A
⑤利用者サービスの向上	<p>○競技大会等の貸切利用における早朝・深夜時間の利用希望者に対し、柔軟な対応を行った。</p> <p>○専用ホームページの他、マスメディアを活用し、事業や施設利用情報等について積極的な各種情報提供を行った。</p> <p>○仙台空港駅に施設PR広告看板を設置し、遠方からの来場者への利用促進及び来場者増を図った。</p> <p>○利用者アンケート等による要望・意見等について所内検討し、利用者サービス向上を図った。</p> <p>○県民の健康維持・増進に寄与するため、様々な運動機会を提供するとともに併せて宮城県総合運動公園の利活用及び個人利用の促進を目的に、施設無料等の利用者特典を設けた「スポーツポイントカード」を発行し、スポーツ実施率の向上及び利用者サービスの向上を図った。</p> <p>○トレーニングルームの初回登録料を半額にして、利用者の費用負担軽減に努めた。</p> <p>○子連れでお出かけしやすい環境整備の一環として、県産木材を活用した置き型授乳室を新たに設置した。</p> <p>○サブアリーナにWi-Fi設備を新規設置し、利用者サービスの向上を図った。</p>		<p>○大会等では、早朝や延長利用の希望が多く、柔軟に対応することで円滑な大会運営に寄与することができた。</p> <p>○ホームページでの案内やフリーペーパー・広告等に加え、仙台空港に広告看板を設置したことにより、多くの県民に事業や施設情報を提供することができた。</p> <p>○利用者の要望やご意見について、迅速かつ適正に対応し、利用者サービスの向上に繋げることができた。</p> <p>○「スポーツポイントカード」を導入し、スタンプを20個押印したカードと引き換えに、記念品の進呈および年2回(7月、2月)の抽選会に参加することができることとした。令和5年度は延べ467名に抽選会に参加いただき、スポーツ実施率の向上及び利用者サービスの向上、利用者満足度の向上を大いに図ることができた。</p> <p>○トレーニングルーム前にプレイルーム利用者も使用できるウォーターサーバーを設置したことで、利用者からも高評価をいただいている。</p>		S	<p>利用者からの要望・意見に対して、きめ細やかに対応し、利用者サービス及び利用者満足度の向上を図っている。</p>	S

項目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】	
			評価		評価
⑥利用者の苦情、要望等の把握とその反映	<p>○施設毎にアンケート調査を実施し、いただいたご意見やご要望を毎月実施のアンケート検討委員会により検討し、管理運営に反映した。また、検討結果や対応内容について施設内への掲示により、利用者にお知らせした。</p> <p>○各施設窓口において、直接的な要望等の把握に努め、その都度、迅速な対応を行った。</p>	<p>○ご意見・ご要望については、利用する立場で検討し、管理運営に的確に反映させ、利用者サービス向上を図ることができた。</p> <p>【管理運営反映例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アリーナ多目的トイレをウォッシュレット便座に交換</li> <li>・トレーニングルーム前にプレイルーム利用者も使用できるウォーターサーバーを設置。</li> <li>・お好みに合わせて振動の種類を変えられる本格エクササイズマシンの導入</li> </ul>	S	<p>利用者アンケートに加え、各窓口で利用者の意見要望を聞く体制を整えている。毎月アンケート検討委員会を実施し、対応可能な要望については迅速に対応し、利用者サービス及び利用者満足度の向上を図っている。</p>	S
⑦安全対策	<p>○訓練等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年9月と10月に消防訓練、12月に総合防災訓練を実施した。</li> <li>・訓練と併せて館内を巡回し、避難経路の確認、危険箇所の確認を行った。</li> </ul> <p>○夜間土日祝でも非常時に備えて、管理監督者が勤務する体制をとっている。</p> <p>○施設利用において、主催者と安全対策について打合せし注意喚起するとともに、施設・設備の保守管理の徹底や職員の安全教育を実施した。</p> <p>【実施対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雷雲接近情報提供</li> <li>・熱中症予防に関する情報提供</li> <li>・食中毒等の防止案内の実施</li> <li>・貴重品の保管と盗難への注意喚起</li> <li>・監視カメラによる確認及び巡回監視</li> <li>・予防修繕の実施</li> <li>・防災、避難訓練の実施、他</li> </ul> <p>○福島県沖地震後は、応急修繕を実施し、危険箇所の安全対策を実施の上、利用を再開した。</p> <p>○利用者の安全確保のため沿道への横断防止柵の設置、サッカー場の雨水管修繕を実施した。</p> <p>○第3駐車場等のアスファルト舗装工事を行い、来場者の安全性、利便性及び快適性を向上させた。</p>	<p>○大会等主催者との打合せにおいて、各参加者にも内容を周知徹底していただくように要請し、各種事故の発生防止に努めた。</p> <p>○全施設同時の防災訓練を実施し、より実践的な安全対策をとることができた。</p> <p>○左記の各種情報提供及び対策の実施により、利用者の安全担保を図ることができた。</p> <p>○地震発生後も応急修繕と危険箇所への安全対策により、早期に施設利用を再開できた。</p> <p>○駐車場への転落防止柵の設置やサッカー場の雨水管修繕を実施することにより、利用者の安全・安心に寄与することができた。</p> <p>○園路の横断防止柵の整備工事により、横断による園路渋滞が解消され駐車場の出入庫の円滑化が図られたことにより、施設利用者の利便性・快適性の向上を図ることができた。</p>	S	<p>防災訓練の実施や緊急連絡先の整備、各種事故予防、感染症対策など多岐にわたり、利用者の安全対策が図られている。また、指定管理者実施により構内横断防止柵の設置箇所を年々拡大するなど、ハード面での対策もなされている。</p>	S
⑧県民の平等利用	<p>○競技大会について、国＞地方＞県＞市町村の優先順位により、年間の利用調整を行った。</p> <p>○県民誰もが利用できる状況とするため、競技大会・イベント等の利用日数を調整し、個人利用日を設け、平等利用に努めた。</p> <p>○施設内掲示の他、ホームページで利用予定を一目で確認できるように情報を提供することができた。</p>	<p>○県のスポーツ振興の中核拠点施設であることを認識し、スポーツ利用を中心とした、多様な施設の提供を行うことができた。</p> <p>○個人で利用できる日程を確保し、誰もが気軽に利用できる環境整備に努めた。</p> <p>○パソコンやスマートフォン等で空き状況を調べたり、申込書をダウンロードできるので便利であると好評を得た。</p>	S	<p>総合運動場として各競技の大会開催を優先し、年間利用を調整しているが、貸切利用の状況を館内掲示やホームページで公開することにより、個人利用者への配慮がなされている。</p>	A
⑨個人情報の保護	<p>○個人情報保護法の改正に伴い、県の個人情報保護条例が廃止されたため、県条例に準じていた以前の規程を廃止し、個人情報保護法に準じた規程を新たに制定し遵守するとともに、個人情報の適切な取り扱いを確保するため、専用ホームページにおいて当該規程を公表した。</p> <p>○取得した個人情報は書棚を施錠し管理を徹底した。</p> <p>○施設予約システムの専用回線化、パソコンのファイアウォール設定、ウイルス対策の実施やパスワード管理の徹底を行い、私有パソコン・外部記憶装置等の持込み及び指定ソフトウェア以外の使用を禁止した。</p>	<p>○令和5年度より新たにセキュリティポリシーを策定し、職員の情報セキュリティに対する意識の向上や、利用者や自主事業参加者からの信頼性の向上を図るとともに、個人情報を扱うパソコン等機器類や管理システムの整備、適切な運用を行うよう職員教育を行った。</p>	S	<p>個人情報保護規程の策定や職員教育、ウイルス対策等により、情報の漏えい、き損及び滅失の防止に努めている。</p>	S
⑩利用実績	<p>上記「4. 施設利用実績」のとおり</p>	<p>○新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、施設を安定的に供用できたことや、スポーツフェスティバル等の無料参加型のイベントの実施やスポーツ教室・スクール事業を通年で開催できたことにより、前年度と比べ3万3千人程増加した。</p>	S	<p>新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、施設の安定的な利用が図られ、前年度よりも利用者が増加している。また、指定管理者による利用調整や自主事業開催によって、施設の有効利用が図られている。</p>	S
⑪収支実績	<p>上記「5. 管理運営収支実績」のとおり</p>	<p>○新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、施設を安定的に供用できたことから利用料収入が増額となり、計画に対し、93,227千円の増額となった。</p> <p>○支出については、施設の老朽化に伴う修繕費の増などにより、63,595千円の増となった。</p> <p>○収入決算11億266万9千円から支出決算10億7,533万7千円を差し引いた額2,733万2千円の黒字決算となった。</p>	S	<p>新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、施設の安定的な利用が図られ、前年度よりも利用料収入が増加している。また、指定管理者の費用負担により、施設の改修や修繕が実施されており、利用者の利便性向上が図られている。</p>	S

項目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】	
			評価		評価
⑫その他の取組	<p>○「わが社のeco do!宣言」を行い、積極的に環境配慮の取組みを実践した。(近隣住環境含む/3年ぶりに職員による地域清掃も実施した)</p> <p>○関係団体に協力いただき、良好な施設の提供に努めた。</p> <p>○「スマート宮城県民会議」登録企業として、宮城県民の体力向上へ寄与した。「歩数アップチャレンジ2023」に27名参加し、健康増進に努めた。</p> <p>○令和2年度にリニューアルしたウォーキングマップを活用し、ウォーキング教室を実施することにより宮城の健康課題の改善に努めた。</p>	<p>○ゴミ発生量の削減やエコマーク対象製品の使用、エコドライブ及び節電等により環境保全や省エネルギーを推進することができた。</p> <p>○コンサートやスポーツ大会の開催時、主催者をはじめ、地域や警察、消防等関係団体にご協力いただき、良好な施設提供ができた。</p> <p>○引き続きウォーキングマップの活用により、県民への運動機会を提供することができた。</p>	S	<p>スポーツ施設としての役割のみならず、各種イベントの実施、災害発生時の拠点など多くの役割を担っている。また、授乳室設置や清掃活動など、社会的課題解決にも積極的に取り組んでいる。</p>	S
	総合評価	<p>○迅速かつ適切な感染防止対策を実施し、安全・安心な施設運営を行うことができた。</p> <p>○福島県沖地震の影響もあったが、利用者の安全確保のため修繕等維持管理に努め、前年度よりも利用者数を増やすことができた。</p> <p>○県のスポーツ振興の拠点施設として、県民の平等利用を確保し、利用者ニーズに沿った管理運営を行うとともに、指定管理者自主事業として競技力向上事業、生涯スポーツ推進事業を積極的に行い、宮城のスポーツ振興に貢献することができた。</p>	S	<p>県のスポーツ振興の拠点施設の管理者として、優れた管理運営を行っている。</p>	S

【指定管理者が行う自己評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営を行った。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営を行った。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかった。大いに改善努力が必要である。

【県が行う評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営が行われた。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営が行われた。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善努力が必要である。

7. 施設管理運営の課題等【指定管理者・施設所管課記入】

項目	指定管理者 【指定管理者記入】	県 【施設所管課記入】
管理運営の課題等	<p>指定管理期間5年間を見据えた維持管理計画により修繕及び備品の更新を実施しているが、大規模施設であること、老朽化が進んでいることから、更に長期的視点での計画及び平準化した執行が必要である。利用者の安全確保及び施設の快適性維持のため、県担当課と連携して取り組んでいく。</p> <p>また、利用者数、利用料収入共に年毎のコンサート・イベント実施状況の影響を受けることを念頭に置き、引き続きスタジアムは災害復旧工事と公認検定工事のため利用中止となるが、諸室の利用の促進を図り利用者回復に努めるとともに、サッカー場Cグラウンドとメインプールの利用再開を受け、効率的な利用調整と安全・安心な施設の提供により、利用者数をコロナ前の水準まで回復できるよう、今後も継続して施設の利用促進に努めていく。</p>	<p>施設の維持管理については、5年間の維持管理計画に基づき更新を実施しているが、更新にあたっては今後とも、サービスの向上及びコスト削減を念頭に置くとともに長期的な観点から執行する必要がある。引き続き、感染症など各種事案への対策を図るとともに、施設の利用促進を支援していく。</p>